

建築士会ながの支部 通常協議会

意見交換会 全体まとめ

2026年5月27日(水) 14:05～

開催概要

- ◇ ながの支部主催
- ◇ 北信ブロック統合と本会財政・組織改革について意見を集約することを目的として開催
- ◇ 結論の即決ではなく、意見収集と本会への上申が趣旨

財政問題(最大の関心事)

構造的危機の認識は共有

- ・ 会員1人当たりの運営実費(約6.1万円)^{※1}が年会費(2.4万円)を大きく上回る
- ・ 支部残額(約1万2,920円)^{※2}が事務局人件費按分(約1万4,000円)に届かず、活動費は初めからマイナス
- ・ 高齢会員増(半額会費)^{※3}と若手不足で可処分財源はさらに縮小。全県プールでの帳尻合わせも今期が限界という認識が共通

※1 事業予算を会員数で割ったもの

111,591,000円 / 1836人 = 60,779円/人

※2 年会費24,000円の内訳(右表)より

※3 高齢化会員比率15%(総会資料(6/13)により算出)

本会会費	3,600
連合会会費	3,480
CPD登録費	1,000
事務局管理費	2,500
活動推進費分	500
残金	12,920円

会費値上げ

- ・ 「2.4万円→3万円で概ね均衡」との試算はあるが、積極的に推す意見は少数
- ・ 「まず運営の無駄を正すべき」という慎重論が多数。先に費用圧縮・収入多角化を優先すべきとの声が強
- ・ 会員離脱リスクへの懸念も慎重論の背景にある

費用圧縮・収入多角化

- ・ 事務局業務へのAI活用・人員削減(定型作業はAI、人にしかできないことは人へ)
- ・ 事業参加費によるコスト回収強化、耐震診断等の外部受託の活用
- ・ 理事・役員数の削減、手当・出張旅費の抑制(スリム化)
- ・ 一般財団法人(建築活動センター)の解散・統廃合を含む大胆なスリム化を求める声も

北信ブロック統合について

対象 4 支部: 更級支部・中高支部・飯水支部・ながの支部

【統合の範囲について】

統合されるのは「委員会・会計・協議会・事務局」の機能であり、各支部組織そのものは引き続き存続する。地域ごとの顔の見える関係や行政との連携窓口は従来通り各支部が担う。

推進の方向性は概ね合意

- ・ 4 支部統合、令和 9 年 4 月 1 日目標は既定路線として受け入れられている
- ・ 統合経験者(須高支部が 8 年前に長野支部と統合しながの支部となった)から「事業参加機会が増えた」と肯定的な声
- ・ 女性委員会活動でも「大きな場で活動できた」という好事例が共有された

懸念・条件付き賛成

- ・ 親睦・顔の見える関係が希薄化しないかという不安
- ・ 小支部が統合後に形骸化しないかへの心配
- ・ 北信のみ先行で他支部の赤字問題が未解決となる懸念

今後への期待

- ・ 北信をパイロットとして検証し、全県ブロック化の道筋を本会に示してほしいという要望

本会の組織運営・ガバナンスへの要望

情報共有・透明性への不満

- ・ 「退任後は情報が来ず、今日初めて実情を知った」という声があり、情報共有の不足は役員経験者からも指摘
- ・ 将来の運営ビジョンや移行プロセスが不明確なまま資料だけが示されたことへの戸惑い・不満

組織の目的・原点の再確認(最も本質的な論点)

- ・ 「建築士会の原点は何か」「10 年後・20 年後を見据えた議論を」「同じ議論を繰り返すな」という根本的な問い直し
- ・ 「公益性」偏重で「会費が自分に還元されない」イメージが固定化し、若手加入の阻害につながっているという指摘
- ・ 「会員のための建築士会であるべき」という意見が複数

会費制度の見直し提案

- ・「二段階会費」方式(本会納付分+ブロック活動費の分割)への言及(福島・新潟等の事例)
- ・「2.4万円のうち本会1.4万円・ブロック活動費1万円」といった具体案も提示
- ・現行の会費配分ルールのばらつきを是正し、統一原則の整備を本会に要請すべきとの声

全体の傾向・まとめ

観点	全体の傾向
財政危機の認識	全員が共有。深刻度の理解は会が深まるにつれて高まった
ブロック統合	推進方向は概ね合意。懸念は「地域性の維持」と「全県不均衡」
費用削減	役員スリム化・AI活用・会議体削減の方向で概ね一致
会費値上げ	慎重論が多数。先に運営改革を、という意見が主流
本会への要望	ビジョンの明確化、情報共有の徹底、移行プロセスの提示
最大の問題提起	「建築士会の存在意義・目的の再定義」が根本的テーマとして浮上

全体を通じた最大の論点は、「財政問題の対症療法だけでなく、建築士会が何のために存在するのかという根本的な目的の再定義」であり、これが若手加入不足・会員離脱・財政悪化という構造問題の出発点にあるという認識が共有された。本日の意見は取りまとめの上、本会理事会等への上申が確認されている。